

京機会ニュース



京機会事務局
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b棟4階(b4S13)
TELFAX:075-383-3713 E-mail:jimukyoku@keikikai.jp
URL:https://keikikai.jp/

No.41

2020 October

2021年度京機会総会：

11月7日(土) オンライン(生中継)開催



特集 ① コロナウィルス影響下における学内・京機会活動の近況報告

特集 ② 歌は世に連れ、世は歌に連れ



CONTENTS

- 02| コロナウィルス影響下における学内・京機会活動の近況報告
- 03| 2021年度京機会総会のご案内
- 04| 2020年度京機会総会報告・関連事項
- 07| 学生会員への京機会活動 / KARTからのお知らせとご報告
- 08| 京機会新ホームページご紹介 / 会費納入のお願い
- 10| 支部だより
- 15| 桂キャンパス・桂図書館開館のご紹介
- 16| 歌は世に連れ、世は歌に連れ
- 17| 教員の異動(お知らせ)
- 18| 桂キャンパスや桂図書館のロゴについて
- 19| 会員のページ

コロナウィルス影響下における学内・京機会活動の近況報告

■ 2020年度京機会活動状況

2020年2月21日(金)に、例年好評の「学生と先輩との交流会」を実施しました。ちょうど新型コロナウイルスの影響が京都でも問題となりつつあるときでしたので、懇親会は中止し、ブース交流会のみの開催いたしました。お陰さまで、当初予定通りの93社2省庁、総勢184名の方にご参加いただきました。その後、コロナウィルスの影響が重大化し、さらに3月には政府より緊急事態宣言が発令され、京機会の本部・支部において様々な行事の開催実施あるいは中止の検討が余儀なくされました。

関東支部と中部支部は4月、中国四国支部では5月に開催予定されていた支部総会が中止を決定され、また本部の行事についても、交流会以降は、ほぼ中止の決定をしております。

例年、秋に中部支部・関東支部に大変お世話になっております「学生工場見学」についても、教室内で議論をつくしましたが、やはり学生とお世話していただくOBの方々の安全を最優先に考え、苦渋の決断として、今年度は中止の決定をいたしました。

■ 大学の教育対応状況

大学内においても、全ての対面での学生ガイダンスは中止となり、講義についても、前期は対面講義・演習は禁止となり、ZOOMなどのネットワークを利用した講義をすることになりました。どの教員も今までにネットワークを利用した講義の経験が少なく、試行錯誤を繰り返しながらのスタートとなりました。対面での対話・作業が重要な設計演習・実験も全てネットワークを介しての指導となり、資料準備に大きな時間をかけましたが、なんとか前期の授業を無事終了することができました。期末試験の実施方法についても、様々な議論を行いましたが、最終的には対面の実施は諦め、全てネットワークを使った評価方法に切り替えることになり、こちらへの対応についても、全教員てんでこ舞いでした。ネットワークを介しての公平性の担保、不正への対応はほんとうに難しいです。

現在は、後期の講義・演習への対応も議論しておりますが、やはり講義は基本的には対面で行わず、ネットワークを介しての実施の予定です。演習・実験については、三密状態に十分注意しながら、なんとか対面での実施ができないか検討を進めております。また、学生は4月よりほぼ大学に登校したことがなく、特に1回生は同級生に会う機会もない状態が続いており、メンタルなケアの必要性を感じております。前期には、1回生のケアの一環として、ネットワークを介しての懇談会を実施しました。

やはり対面での懇談が大事であると感じ、後期にはそのような懇談会を実施できるよう計画しております。

■ 機械系専攻群の研究状況

研究活動については、5月下旬までは学生の登校をほぼ自粛させておりましたが、徐々に、解除されるようになり、三密状態に十分配慮しながら、各研究室のそれぞれの対応で進めることになりました。しかしながら、やはりもとのように進めるには数々の支障があり、通常通りになるにはまだ時間がかかるようです。教員も基本的には出張を自粛し、学内・学外の打ち合わせもほぼネットワークを介しての実施となっております。当初は不慣れで、特に投票等の実施には試行錯誤が続きましたが、徐々に慣れてきて、今では通常通りに打合せを進められるようになりました。コロナウィルスの影響が沈静化された後も、従来のように遠方に出張し、対面で会議を行う数は減少されると予想しております。また、国内外の学術会議も、全て延期あるいはネットワークを介しての実施となりました。そのため、学生へ渡航支援をしていただいている「脇坂基金」への学生からの応募もなくなりましたので、4月からの学生募集は中止とすることを決定しました。しかしながら、やはり対面での議論の方がより深く研究内容の理解、意見交換ができると思いますので、早くコロナウィルスの影響が沈静化され、再開できることを願っております。

■ 京機会の今後と2021年度京機会活動について (京機会拡大運営委員会より)

7月26日(土)に、京機会の拡大運営委員会(ZOOM会議)を開催し、京機会の今後の行事の対応について議論しました。その結果、「京機会総会」は、当初予定通り11月7日(土)の開催予定でございますが、やはりネットワークを介して実施することになりました。また、2021年2月開催予定の「学生と先輩との交流会」についても、ネットワークを介して開催することを前提で、実施する方法を模索しております。その他にも、委員会では、支部活動の活性化を行うため、ネットワークを介しての行事の実施の提案があり、本部ではそのような支部のご意向を踏まえ、ネットワークサービスの準備も進めております。

これからも、会員の皆様のご支援どうかよろしくお願い申し上げます。

京機会代表幹事 西脇 眞二(1986年)



2021年 学生と先輩との交流会は、2月にオンライン企画にて開催予定です!

コロナ禍の影響を受け、2021年「学生と先輩の交流会」は、従来のブース対面形式から、ネットワークを介した新たなスタイルで開催する方向で、現在、検討を進めております。参加案内は、10月下旬(予定)に「京機会会員所属企業」宛に郵送予定です。今回の交流会内容は、同書にてご確認の程お願いいたします。現在、京機会会員在籍の約250社の企業宛にご案内しておりますが、まだ、お届けできていない企業もございます。本会にご興味をお持ちいただいた場合は、京機会事務局までご連絡ください。



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会での仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。

2021年度 京機会総会開催のご案内

コロナ禍の影響を受け、2021年度京機会総会はスタイルを変えて開催することとなりました。

皆様の安全を最優先に考え 新たな試みとしてオンラインにて総会を開催いたします。

途中参加・退席も可能です。多くのご参加をお待ちしております。

I) 日時:2020年11月7日(土) 14:00~16:00(終了予定)

II) 開催方法:WEB会議ツール「Zoom」バーチャル会議方式(生中継)

III) 参加方法:

● ZoomにログインするためのURLや関連事項は、11月上旬に参加申込者宛にメールでお知らせします。

● ご参加者は、11/7総会当日13:45~にアクセスいただき、会開催までしばらくお待ちください。

● 本会に参加するには、パソコンかスマホおよびインターネットに接続できる環境が必要です。

※ 当日までにWi-Fi環境、PCあるいはタブレットやスマートフォンをご準備ください。

※ ZOOMインストールおよび操作マニュアルは、京機会ホームページで紹介いたします。

※ ご参加は無料ですが、インターネット接続に関する料金は参加者の負担となります。

IV) スケジュール(予定):

1) 開会の辞

2) 会長挨拶

3) 活動報告および議案審議

4) 支部からのお知らせ

5) 質疑応答

6) 閉会の辞

● 詳しいタイムスケジュール等は、京機会ホームページにてご確認ください。

● 今回は、講演会はありません。

V) 総会参加締切: 10月31日(土)

● 同封のハガキもしくは、京機会HP(<https://keikikai.jp/>)からの参加申込をお願いします。

(但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方をお願いします。)

京機会 新ホームページ開設

2020年7月に京機会ホームページがリニューアルオープンしました。



セキュリティにおける課題であったサーバーとの通信内容と認証に関する暗号化に対応するため、サーバーの移転とシステムの変更を行いました。これに合わせて会員が使いやすいように、日本機械学会ホームページの構成の設計にも従事した筆者の経験を活かしてホームページのデザインを変更し、機能を追加しました。同窓会のホームページを意識して、本部・支部の行事と同窓会の活動に関する案内と報告を簡単に探し出し、閲覧できるようにしています。また、本部だけでなく支部・同窓会・同期会としても投稿と管理がしやすいようにシステムにはWordpressを導入しています。これからも機能と中身を充実させていきます。

本紙P.8~9では、皆様に使っていただけるように、主な機能を紹介しております。お気づきの点等がございましたら事務局までご連絡ください。

京機会 通信・情報・セキュリティ担当 巽 和也(1997年)

2020年度 京機会総会のご報告

日時:2019年11月2日(土)

会場:京都大学吉田キャンパス

幹事会:物理系校舎312室(出席者47名)

総会:物理系校舎313室(出席者96名)

講演会:物理系校舎313室(出席者116名)

懇親会:国際交流ホールⅢ(出席者91名)



その後、西脇眞二新代表幹事(1986年)から2020年度の活動予定、鈴木基史前会計幹事から2020年度の予算が紹介され、予算が承認されました。



支部報告では、関西、関東、中部、中国四国、九州、それぞれの支部が、それぞれの特色を生かした活動の報告が行われました。

2020年度京機会総会は、11月2日(土)に京都大学の吉田キャンパスにある物理系校舎、及び百周年記念会館国際交流ホールにて開催されました。

参加者は、ご家族も含め、総勢122名でした。

－ 全体幹事会 －

幹事会では、会計の報告と新役員候補の紹介がなされ、総会への提出が承認されました。また、京機会活動に関する意見が紹介され、活発な意見交換が行われました。



関西支部では、異業種交流会、産学懇話会、京機カフェなどの取り組み、および同窓会活動の試みなどが紹介されました。関東支部では、新人歓迎会、工場見学会、ゴルフ会、写真同好会の活動などが紹介されました。中部支部では、「コロナロカス」活動、若手の会、技術交流会、学生工場見学会、巧の技見学会などが紹介されました。中国四国支部では、見学会、異業種交流会などが報告されました。九州支部では、九州支部の特徴、高校への出前講義や、工場見学会の活動などが紹介されました。



－ 総会 －

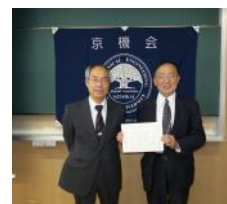
2020年度総会は、蓮尾昌裕代表幹事(1986年)の司会によって行われました。

塩路昌宏会長(1975年)の挨拶で始まり、続いて、鈴木基史工学研究科副研究科長(1986年)より教室の現状報告がなされました。



その後、来年3月に定年退職予定の教員2名、今年転出・移動された教員6名、新任教員6名、昇任教員6名の紹介が行われました。

次に、京機会の2019年度の年間活動に顕著なご貢献をいただいた千々木 亨氏(1979年)への会長賞、ならびに支部推薦の5名への活動優秀賞の表彰が行われました。ご欠席の受賞者については、各支部からの代理の方に賞状を受領いただきました。



最後に、今後の本部行事と来年度の総会の案内があり、閉会しました。

(各支部の活動詳細はP.10～P.15に記載)

－ 特別講演会 －



2019年度の活動報告では、各支部の協力による工場見学の実施、脇坂資金による学生の留学補助、学生と先輩の交流会、学生フォーミュラー活動、社会貢献の取り組み(高校への出張講義)、ニュースレターなどが紹介されました。

続いて、鈴木基史会計幹事から2019年度決算報告があり、鴻野雄一郎氏(1969年)による監査報告が行われ、承認されました。



次に塩路昌宏氏が会長に再任され、副会長案が承認されました。引き続き、新役員が報告されました。(役員名簿はP.6に記載)



特別講演では、「不便だからこそ益があるシステム的设计」と題して、川上浩司氏(1987年)(情報学研究科 特定教授)より講演がありました。講演では、便利・不便、益・害とは何か、不便で良かったことやご自身が不便認定した例、不便益の効用、システム設計への応用などをユニークにお話されました。また、講演には、学生の参加もあり、「勉強に役立つ不便益はないか?」、「便利⇔不便、益⇔害の4象限のそれぞれの割合はどれぐらいか?」などの質問も



－ 懇親会 －

会場を国際交流ホールに移して、西協眞二代表幹事の司会で懇親会を開催しました。塩路昌宏会長にご挨拶いただいた後、下間頼一氏(1950年)の乾杯のご発声により、会が始まりました。



しばしの歓談の後、KARTからの本年度活動報告があり、その後、「琵琶湖周航の歌」を参加者全員で合唱しました。

最後に、松原 厚マイクロエンジニアリング専攻長(1985年)よりご挨拶をいただき、総会が終了しました。



2019年度 京機会年間活動優秀賞

受賞者は下記のとおりです。

■ 千々木 亨氏(1979年)

九州支部長として長きに亘り支部行事や小中高校への出前講義等を企画立案し京機会の活性化に大きく貢献されました。(会長推薦)

■ 上田 雅人氏(1985年)

関西支部の若手会発足の基盤づくりに大変ご尽力いただくことで京機会の活性化に大きく貢献いただきました。(関西支部推薦)

■ 内藤 拓氏(2011年)

若手幹事会の幹事として新人の関東支部行事への参加数の大幅増加を図り京機会の活性化に大きく貢献いただきました。(関東支部推薦)

■ 川崎 亮氏(2011年)

若手の会の活動を通してココロ動かす発想を従来の活動に織り込むことで京機会の活性化に大きく貢献いただきました。(中部支部推薦)

■ 白崎 琢也氏(2002年)

事務局長として被災地見学企画による会員の関心度向上や若手力による支部行事の活性化に努められました。(中国四国支部推薦)

■ 浅田 勉氏(1985年)

九州支部活動を沖縄地区に拡大するきっかけとなる行事運営にご尽力いただき京機会の活性化に大きく貢献いただきました。(九州支部推薦)



2021年度 京機会学年幹事 (敬称略)

2021年度学年幹事は下記の通りです。本年度もご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年度の全体幹事会は、京機会総会前の10月25日(日)にオンライン(ZOOM)で開催いたします。

詳細案内は、学年幹事宛に別途お送りいたします。

卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名		
1951	大塚 義和	1961	井上 恵太	1971	高橋 秀公	1981	榎木 哲夫	1991	高橋 俊雄	2001	土井謙太郎	2011	荒井 未来
1952	山本 巖	1962	吉岡 肇	1972	秋山 雅義	1982	矢辺 保行	1992	須山 徹	2002	金田 靖弘	2012	
1953		1963	中川 哲	1973	増本 雄治	1983	永瀬 豊	1993	岩井 裕	2003	吉富 聡	2013	姫野 哲全
1954		1964	岸田 尚	1974	田上 眞	1984	横小路泰義	1994	茨木 創一	2004	安宮 亮太	2014	後藤 崇
1955	田中 道七	1965	池内 健	1975	塩路 昌宏	1985	洲崎 章弘	1995	小森 雅晴	2005	向 朋作朗	2015	児嶋 佑典
1956	赤松 映明	1966	中嶋 邦彦	1976	杉江 俊治	1986	蓮尾 昌裕	1996	泉井 一浩	2006	嶋本 淳	2016	三上 慎司
1957	田中 秀樹	1967	藤川 卓爾	1977	星出 敏彦	1987	川上 浩司	1997	佐野 智一	2007	藤井 恵介	2017	長井 大颯
1958	小澤 三敏	1968	末田 浩毅	1978	上原 一浩	1988	玉川 雅章	1998	浦木 亨弘	2008	所 哲哉	2018	西尾 颯
1959	柴田 俊忍	1969	鴻野雄一郎	1979	坂口 保彦	1989	石谷 善博	1999	藤本 亮	2009	松本 洋平	2019	
1960	矢部 寛	1970	松久 寛	1980	奥田 寛	1990	畑 善裕	2000	小田 豊	2010	工藤 朋也	2020	

<学年幹事決定のご報告> 2020年7月に2021年度学年幹事の継続就任をお願いし、上記幹事各位にご快諾いただきました。2021年度の任期は2020年11月7日～2021年11月吉日(総会の前日)までです。

2020年度 京機会役員 (敬称略)

*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【会長】 塩路 昌宏(1975)

【副会長】

吉田 英生*(1978)
野村 剛(1976、関西支部)
山本 謙(1975、関東支部)
伊勢 清貴*(1978、中部支部)
古屋 博章*(1982、中国四国支部)
千々木 亨(1979、九州支部)
土居 佑輔(2019、学生会)

【監事】 鴻野雄一郎(1969)、成宮 明*(1973)

森 雅彦(1985)

【代表幹事】正:西脇 眞二*(1986)、副:鈴木 基史*(1986)

【会計幹事】正:平方 寛之*(1997)、副:土屋 智由*(1991)

【常任幹事】

大学側幹事:

(関西) 正:川那辺 洋*(1990)、副:松原 厚(1985)
(関東) 正:吉田 英生(1978)、副:平方 寛之*(1997)
(中部) 正:西脇 眞二(1986)、副:井上 康博(1998)
(中国四国)正:安達 泰治*(1990)、副:花崎 秀史(1984)
(九州) 正:黒瀬 良一(1993)、副:河野 大輔(2005)

大学側幹事:

(名簿) 正:四竈 泰一(2002)、副:岩井 裕*(1993)
(広報:ニュース)正:黒瀬 良一*(1993)、副:横川 隆司*(2000)
(通信・情報・セキュリティ担当)正:巽 和也*(1997)
(通信・情報・セキュリティ担当)副:井上 康博*(1998)
(学生会) 岩井 裕(1993)、平山 朋子*(1997)
(教室代表:機械系) 西脇 眞二*(1986)
(教室代表:エネルギー) 川那辺 洋*(1990)
(教室代表:情報) 大塚 敏之(1990)
学生会:古田 康晃(2019)

地区代表幹事:

(関西)岡下 裕樹*(1997)、(関東)岡部 基彦*(1998)
(中部)田中 直樹*(1995)、(中国四国)後藤 宏(1988)
(九州)入船佳津一*(1985)

【顧問】 久保 愛三(1966)、藤川 卓爾(1967)

松久 寛(1970)、中村 吉伸(1973)

【運営委員会】 運営委員長:北條 正樹

久保 愛三、熊澤 正博(1968)、松久 寛、野村 剛
野村 剛、伊勢 清貴*、千々木 亨、古屋 博章
榎木 哲夫(1981)、松原 厚、鈴木 基史、西脇 眞二
蓮尾 昌裕(1986)、平方 寛之

<本部役員改選のお知らせ>

本部役員の改選は、11月7日の京機会総会で行います。上記役員任期は2020年11月6日までです。

京機会2019年度(2018.10.1~2019.9.30)決算 / 2020年度(2019.10.1~2020.9.30)予算

2019年度一般会計正味財産増減計算書 & 2020年度予算

		2019年度実算	2019年度予算	差引	2020年度予算
		単位:円			
I 一般正味財産増減の部					
i) 収益					
	会費収入	7,852,800	6,780,000	1,062,800	7,420,000
	寄付収入	47,000	50,000	▲ 3,000	40,000
	参加費収入	6,481,500	6,660,000	▲ 178,500	7,464,000
	名簿販売収入	16,000	40,000	▲ 24,000	4,000
	名簿広告収入	980,000	1,000,000	▲ 20,000	0
	受取利息	107	150	▲ 43	100
	雑収入	0	0	0	0
	名簿引当金戻入	600,000	600,000	0	0
	収益計	15,977,507	15,140,150	837,357	14,828,100
ii) 費用					
	給与手当	4,714,439	4,650,000	64,439	4,850,000
	法定福利費	737,092	670,000	▲ 132,806	800,000
	会議費	2,137,903	2,320,000	▲ 182,097	2,580,000
	旅費交通費	449,436	650,000	▲ 200,564	530,000
	印刷費	2,267,025	2,570,000	▲ 302,975	1,070,000
	通信費	419,621	470,000	▲ 50,379	316,000
	消耗品費	98,782	200,000	▲ 101,218	200,000
	WEB等管理費	516,173	170,000	346,173	600,000
	減価償却費	197,080	192,000	5,080	200,000
	雑費	188,194	190,000	▲ 1,806	220,000
	支部交付金	1,512,333	1,550,000	▲ 37,667	1,701,900
	スマイル活動費	147,880	200,000	▲ 52,120	200,000
	機械系教育補助費	563,692	700,000	▲ 136,308	700,000
	地域・社会貢献事業等補助費	0	100,000	▲ 100,000	100,000
	名簿引当金繰入	200,000	200,000	0	200,000
	雑損失	2,050	0	2,050	0
	予備費	0	108,150	▲ 108,150	660,200
	費用計	14,151,700	15,140,150	▲ 988,450	14,828,100
	増減額	1,825,807	0	1,825,807	0
	一般正味財産期首残高	9,653,664			
	一般正味財産期末残高	11,479,471			

2019年度特別会計正味財産増減計算書

		単位:円
II 特別正味財産増減の部		
i) 収益		
	預金利息	224
	収益計	224
ii) 費用		
	雑費	864
	費用計	864
	増減額	△ 640
	特別正味財産期首残高	17,676,201
	特別正味財産期末残高	17,675,561

2019年度正味財産期末残高 29,155,032円

2019年度 貸借対照表

		単位:円	
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金	100,635	未払金	260,955
普通預金	27,747,558	預り金	73,703
定期預金	2,800,000	名簿引当金	0
養員備品	369,697	退職給付引当金	2,025,000
ソフトウェア	0	負債の部合計	2,359,658
	496,800	正味財産の部	
備蓄品	0	一般正味財産	11,479,471
前払金	0	特別正味財産	17,675,561
		正味財産の部合計	29,155,032
資産の部合計	31,514,690	負債及び正味財産合計	31,514,690

学生会員への京機会活動

京機会は、卒業生のための同窓会組織であります、
近年、学生会会員(機械系専攻在学生)向けの行事や支援も数多く行っています。

2回生 工場見学会

2回生講義「機械製作実習」の一部として実施する工場見学会に対して、見学先の手配などの支援を行っています。本会は、機械システム学コースの勉強と実社会での技術者の活動の関係を知る貴重な機会です。

2020年見学会は中止となりました。

中部・関東工場見学会

機械システム学コースの公式行事で、京機会、中部支部、関東支部、京機会学生会SMILEの協力のもと実施される2泊3日の工場見学ツアーへの参加費補助を行っています。見学の他に、懇親会には京大OBの若いエンジニアが多数ご参加いただき、社会人と知り合う機会ができます。普段は聞けない社会人の本音を聞かせていただくことができ、将来の就職に役に立つ企画です。

2020年見学会は中止となりました。

SMILE主催 工場見学会

京機会各支部(関西・中国四国・九州)のご協力より、京機会学生会SMILE主催の工場見学会も、年度により実施しています。京機会は、参加学生に補助金を提供し、参加しやすい環境を作っています。また、各支部や訪問企業からも多大なるご尽力をいただいています。

2020年見学会は中止となっています。

学生と先輩との交流会

学生会SMILEとの共催で、毎年約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評をいただいています。

2021年春は、オンライン企画で開催予定です。

2020年春からのコロナ禍の影響により、学生会員企画の中止が相次ぎ、現在も活動休止中です。対策については検討中です。

修士修了生・卒業生記念写真撮影

機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位授与式、ならびに機械システム学コース卒業証書授与式終了後、記念撮影を行っています。

記念写真撮影は中止となりました。

修士修了記念パーティー

新社会人となる修士学生会員を対象として、博士修了・学部卒業の学生会員も交え、学位授与式後の記念写真撮影後、記念パーティーを開催しています。

記念パーティーは中止となりました。

新社会人への記念品贈呈

新社会人となる学生会員には、修士修了パーティーへの招待と共に、京機会特製本皮名刺入れを贈呈しています。



指定年会費納付者には6月に郵送にて贈呈しています。

協坂基金の運用・管理

協坂基金は、国際会議等で初めて研究発表する学生に交通費等を補助します。京機会は、本基金の運営を預かり、学生への対応を行っています。

現在、基金への申請は休止しています。

京機会各種行事の参加

学生会員は、京機会の各種行事への参加を歓迎されています。特に懇親会では格安の学生価格で参加できます。現在は、対応休止中です。

KARTからのお知らせとご報告

初めに、新型コロナウイルスの影響により、2020年9月8日から12日にかけて開催が予定されておりました『学生フォーミュラ日本大会2020』が中止となったことをご報告させていただきます。昨夏より、チーム一丸となって準備を進めてきただけにやるせない気持ちでいっぱいです。先日、次回大会の開催が発表されたので、気持ちを新たに新車両の設計・製作を進めてまいります。

続いて、昨年度の大会結果についてご報告させていただきます。昨年度は3カ年計画の集大成となる車両『KZ-R17』を製作し、大会に臨みました。デザイン審査満点をはじめとし、コスト審査及びプレゼン審査といった静的審査に分類される種目では一昨年よりも得点を向上させ、ベスト三面図賞等の特別表彰を5ついただくことができました。

しかしながら、車両の運動性能が試される動的審査に分類される種目においては、シームレストランスミッションは搭載できたものの、エンジン変更により今まで培ってきたノウハウが通用しませんでした。その結果、

性能の向上と、信頼性の確保が十分にできなかったため、各種目で成績が振るわず、最終競技にあたるエンデュランスにいたっては車両トラブルによりリタイアを喫しました。総合順位は18位と、目標に掲げていた総合優勝からは程遠い結果となってしまいました。

4月より課外活動が禁止となっており、再開の目途は立ちませんが、大会において浮き彫りとなった問題を解決し、計画的に製作を進められるようにこの期間を有効に使っていききたいと思います。

最後にはなりましたが、今後とも京都大学学生フォーミュラプロジェクト KART へのご声援をよろしく願います。

2020年度
プロジェクトリーダー

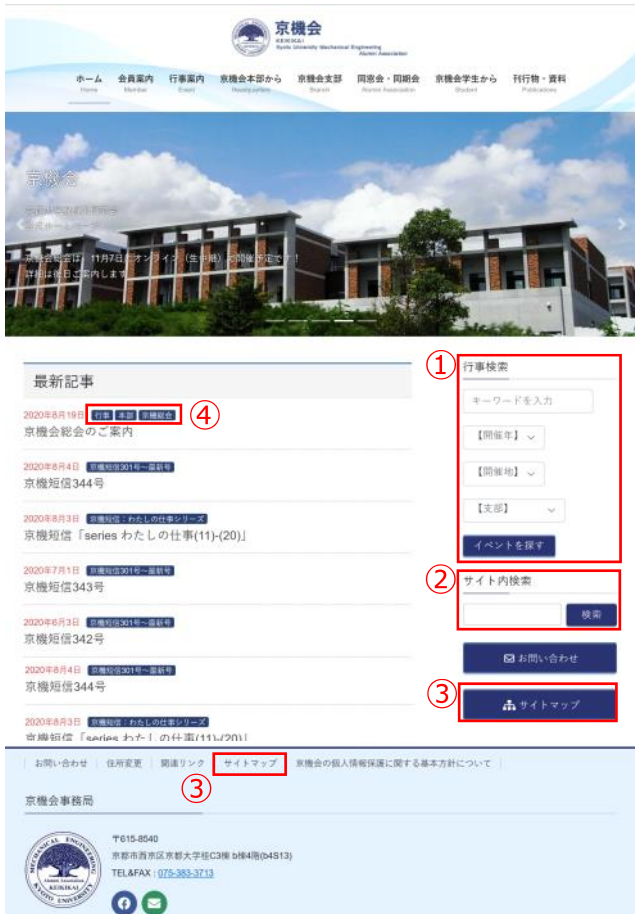
丸山 ゆう



ホームページ: <http://www.formula-kart.org/>

京機会 新ホームページ開設（使い方紹介）

京機会ホームページ (https://keikikai.jp/)



(図1) 京機会ホームページのトップページ

①「イベント(行事)検索」

キーワードの他に開催する年、場所、支部により行事を検索することができます。またメインメニューの「行事案内」では、開催予定および開催された行事の一覧が見られます。

②「サイト内検索」

キーワードを入力することでホームページ内の行事と記事を検索することができます。

③「サイトマップ」

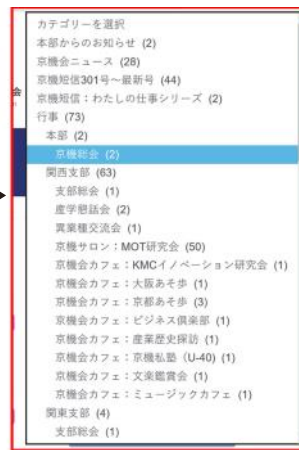
ホームページ内の全ての項目(メニュー)が表示されます(図2参照)。「ホーム」右欄または各ページの最下段のフットメニューに「サイトマップ」へのリンクがあります。



(図2) メニュー全体が表示されるサイトマップ



(図3) 記事一覧とカテゴリによる記事の分類と選択



カテゴリ記事一覧

④「記事とカテゴリタグ」

行事をはじめとして、本部、支部、同窓会、同期会の行事と活動に関する案内と報告は記事として掲載されています。(図3)

- 記事は、カテゴリごとにまとめられ、パソコン版のデザインではページ右欄のカテゴリ別記事検索のメニューから選択できます。さらに、各記事の上段にカテゴリタグ(ボタン)としてもカテゴリの内容は表示され、これらをクリックすることで、同一のカテゴリに属する記事(関連記事)の一覧を表示できます。
- タグは、各記事の下段に表示されており、カテゴリとは別にタグで関連する記事が分類されています。

京機会 新ホームページ開設（使い方紹介）

■ レスポンシブデザイン

パソコンとタブレット・スマホの画面の大きさに合わせて、ホームページの表示デザインが変わります。タブレット・スマホ版では右図に示すように、表示されるページは一段構成であり、メニューは左上に集約されます。

■ 同窓会開催支援サービス

同窓会の集まり等にご利用いただける参加登録システムは、旧ホームページから継続し新システムでも提供しています。詳細は、メインメニューの「会員案内」または「同窓会・同期会」にあります「同窓会開催支援サービス」をご覧ください。

■ バックナンバー

新ホームページの記事として掲載されていない旧ホームページの各ページは、バックナンバーから閲覧できます。



(図4) スマホ・タブレットの表示形式

会費納入のお願い

コロナ禍の厳しい状況ではございますが、皆さま、京機会へのご支援・ご協力ありがとうございます。

2020年度・2021年度の会費の納入をお願いします。 年会費は、従来どおり3,000円です。

2020年度<2020. 4. 1～2021. 3. 31>

2021年度<2021. 4. 1～2022. 3. 31> をそれぞれ1年分と考えてご納付下さい。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

● 永年会員登録のお勧め

1983年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

● インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込ください。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630
郵便振替口座 00990-8-116821

● 京機会年会費自動引落のお勧め

各位の振込の手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請の際は、同封の用紙をご使用ください。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用ください。

申請依頼書は6月末迄に京機会事務局にご郵送ください。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

■ 年会費の自動引落日は毎年8月1日です。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2018・2019年度寄付者(2018.9.1～2019.8.31)

左山 浩 様(1952)	仁科 稜三 様(1958)
柴田 俊忍 様(1959)	田中 壽 様(1960)
久保 愛三 様(1966)	下津 正輝 様(1967)
杉山 謙吾 様(1968)	西田 光男 様(1970)
喜多 茂雄 様(1988)	大森 俊博 様(2004)
故・秋山 兵衛 様(1947)	ご遺族



■ 令和2年度支部総会・新年会

日時: 2020年1月18日(土)
 場所: ガーデンシティクラブ大阪
 参加人数: 講演会 78名
 総会 90名
 新年会 94名

● 講演会

「形態形成の多細胞力学シミュレーション」をテーマに井上康博先生(マイクロエンジニアリング専攻、1998年)にご講演いただき、多細胞力学シミュレーションの概要、現状や課題についてご紹介頂きました。



● 支部総会

支部総会を実施し、以下項目を報告し議決されました。

令和1(平成31)年度 活動報告・会計報告
 令和2年度 役員改選・活動報告案・予算案

令和1(平成31)年度会計報告

収入			支出		
項目	H31予算	H31実績	項目	H31予算	H31実績
新年会参加費	¥833,000	¥800,000	新年会経費	¥833,000	¥789,900
本部からの交付金(6/20)	¥490,000	¥512,675	産学懇話会	¥100,000	¥8,940
普通預金利息(2/16, 8/17)	¥100	¥22	異業種交流会運営費	¥50,000	¥39,520
			京機カフェ活動費(若手会含む)	¥200,000	¥119,678
			関西支部運営会議費(新幹会含む)	¥200,000	¥201,845
			その他経費(振込手数料)	¥1,000	¥324
R1当年度収入合計	¥1,323,100	¥1,312,697	R1当年度支出合計	¥1,384,000	¥1,160,207
H30年度からの繰越金	¥2,843,796		R1当年度収支差額	¥-60,900	¥152,490
R1当年度収入+繰越金		¥4,156,493	R2次年度への繰越金		¥2,996,286

令和2年度予算案

収入			支出		
項目	R2予算	H31決済額	項目	R2予算	H31実績
新年会参加費	¥822,000	¥800,000	新年会経費	¥874,430	¥789,900
本部からの交付金	¥588,153	¥512,675	産学懇話会	¥100,000	¥8,940
普通預金利息	¥100	¥22	異業種交流会運営費	¥50,000	¥39,520
			京機カフェ活動費(若手会含む)	¥200,000	¥119,678
			関西支部運営会議費(新幹会含む)	¥350,000	¥201,845
			その他経費(振込手数料)	¥1,000	¥324
R2当年度収入合計	¥1,410,253	¥1,312,697	R2当年度支出合計	¥1,575,430	¥1,160,207
H31年度からの繰越金		¥2,996,286			

令和2年度関西支部役員

支部長: 野村 剛(1976)
 副支部長: 仲田 摩智(1979)、吉田 乙雄(1990)
 松原 厚(1985)、川那辺 洋(1990)
 佐々木 眞治(1978)、上田 雅人(1985)
 佐藤 智典(1990)
 事務局長: 岡下 裕樹(1997)
 事務次長: 伊東 寛和(2000)
 監 事: 鴻野 雄一郎(1969)

● 新年会

関西支部総会に引き続き、恒例の関西支部新年会を開催し、94名の方に参加頂きました。当番会社(大阪ガス(株))代表 吉田乙雄氏(1990年)の開会挨拶に続き、野村剛支部長(1976年)挨拶、塩路昌宏京機協会会長(1975年)挨拶、更に大学代表として松原厚先生(1985年)に大学の近況の御報告を頂きました。そして当日ご参加頂いた年長の小澤三敏様(1958年)に乾杯の御発声を頂き、開会致しました。

恒例の福引大会ではG20大阪サミットで話題となったワイン、AI搭載機器、スマホ連動体組成計など時代を映した景品をめがけて会場は一つに盛り上がりました。次期当番会社(株クボタ)代表 佐々木眞治氏(1978年)の挨拶後、円陣を組んで「琵琶湖周航の歌」を大合唱し、活気に満ちた新年会を盛会裡に閉会致しました。また新年会開始前に記念撮影をし、お帰りの際皆様に全体写真をお渡ししました。



■ 異業種交流会

○第45回: 2019年10月8日(火)
 場所: 新明和工業(株) 甲南工場
 参加者: 23名

飛行艇の開発歴史や技術紹介の後、飛行艇製造工場を見学しました。

■ 産学懇話会

○第48回: 2019年10月12日(土)
 講演: テーマ「航空宇宙」
 ⇒台風19号の影響により、中止しました。
 ○第49回: 2020年5月16日(土)
 講演: テーマ「航空宇宙」
 ⇒新型コロナウイルスの影響により、中止しました。



■ 若手会

○オートテスト大会:2019年11月24日(日)
 場所:山城田辺自動車学校 特設会場 参加者:4名

学生フォーミュラKARTのOBも参加し、誰でも手軽に参加できる自動車競技「オートテスト大会」に参加しました。結果は、入賞2名、特別賞1名、じゃんけん大会の景品など、参加者全員もれなくお土産を頂くことができて大満足の日でした。



○今年度の新人歓迎会は、新型コロナウイルスの影響により、中止しました。

■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部ホームページを参照下さい。

● ゴルフカフェ

○第1回企業対抗コンペ:2019年11月30日(土)
 場所:瀬田ゴルフコース

参加企業:京都大学、パナソニック、大阪ガス、クボタ、住友電工、企業連合

第1回企業対抗ゴルフコンペを開催し、パナソニックチームが見事優勝を飾りました。これからも定期的な開催を予定しています。



● 大阪あそ歩

○第10回:2019年12月7日(土)

「百舌鳥古墳群と堺散策」

参加者:13名

世界遺産に登録された百舌鳥古墳群と堺の生んだ千利休・与謝野晶子のゆかりの地を散策しました。また、日本最古の鉄道駅舎とされる旧南海鉄道浜寺公園駅を訪ね、駅舎の保存にご尽力された浜寺昭和校区まちづくり協議会会長の濱野清士氏(1965年)にご同行いただき、駅舎のカフェでその経緯などをお伺いしました。



● ミュージックカフェ

○第15回:2019年12月13日(金)

「山本リンダライブショーでLuxuryな忘年会」

場所:心斎橋 ライブバー ART CLUB

あの山本リンダさんを目の前で!今までやってきた数々のミュージックカフェの中でも興奮・刺激MAXの衝撃的な会となりました。あのリンダさまが50cmまで接近。京機会参加者もノックダウン。前半はしっとりとしゃんソンを堪能した後、やっぱり最後は誰もが知ってる「ウララー、ウララー、ウラウラヨーオ」。この日の京機会参加者より10年先を行かれる元気いっぱいリンダさんからダイレクトにエネルギーを頂きました。



● 特別企画

○吉本新喜劇観劇:2020年2月29日(土)

参加者:12名

万全のウイルス感染防止対策を行い、お笑いの本場「なんばグランド花月」において吉本新喜劇を観劇する企画を開催しました。「笑いは健康の源」と言われていますが、舞台近くのいい席で漫才と新喜劇の2本立てを観劇し、参加された皆様からは免疫力が高まった(?)と大変好評でした。特別企画として開催しましたが、今後も関西支部らしいお笑いカフェを企画していきたいと思えます。



- 京機ビジネス倶楽部
- 産業歴史探訪
- 文楽鑑賞会
- 京都あそ歩
- テニスカフェ
- KMCイノベーション研究会
- MOT研究会(新たな形で再開検討中)

■ 同窓会企画

○第1回:対象 2000年卒、2010年卒

卒業年次によっては同窓会が開催されていない現状を踏まえ、京機会の基本に立ち返り、同窓会の活性化に向けて、関西支部主導の同窓会企画の仕組み化について取り組みを始めました。今年度は卒業後10年、20年の節目に同窓生に集まってもらうことを企画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止といたしました。次年度以降の開催に向けて、引き続き企画してまいりますので、積極的な参画とご協力をお願いいたします。



学生工場見学のご報告

2019年9月24日(火)、25(水)に、中部支部・関東支部合同開催の学生工場見学を開催しました。

中部支部から関東支部へ移動した初日には、懇親会を行い、(株)IHI本社の宴会場で総勢42名が参加しました。

学生とOBが活発に会話して大いに盛り上がり、親睦を深める良い機会となりました。2日目はまず午前中に(株)IHI横浜工場を見学し工場の設備を見学しました。午後からは日産自動車(株)横浜工場を見学し、エンジン工場の見学や、OBからの技術紹介を行いました。



ゴルフ会のご報告

2019年11月9日(土)に、第24回ゴルフ会を万木城カントリークラブ(千葉)で開催し、15名が参加しました。

熱戦の末に前野氏が優勝を果たされました。



写真同好会撮影会のご報告

2019年11月16日(土)に、第19回撮影会として、迎賓館赤坂離宮から神宮外苑、新国立競技場へ撮影に行きました。若手1名を含む5名で、散策と撮影を楽しみました。

作品は下記URLからご覧ください。

<https://keikikai.jp/5177/>



MOTセミナーのご報告

2019年10月19日(土)に、第14回MOTセミナーを京都大学東京オフィス(丸の内)にて延のべ18名が参加して開催しました。

(株)MICIN COO 草間亮一氏(2008年)に「京大を卒業して～コンサル、起業、それから～」と題してご講演いただきました。マッキンゼーでの経験、起業家、医療、AI等のテーマについて、講師と参加者の皆様で深掘りした議論や活発な質疑応答で盛り上がりました。



2020年度の行事について

春から秋にかけて、予定していた支部総会などの行事はコロナの影響により中止しております。代わって密にならない工夫をして、オンラインでの行事を企画しようとしております。

- 詳細については、別途Eメールおよび京機会HPでご案内します。



京機会プチ情報:思い出ショット!

2003年4月開催の関東支部主催「京機会春季大会」は、TVロケ地としても数多く登場する豪華な「日本工業倶楽部」が会場でした。



**中部支部総会 中止および幹事会にて代替<ご報告>**

今年の支部総会は新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言を受け中止とし、人が集まらない形式としてメールを主とする幹事会にて代替しました。幹事会では、支部会員を代表して今年からの新体制を承認するとともに、日々状況が変化する中での今年の活動計画がどこまで実施できるのか不安な思いを抱えつつ、世の中の動向を踏まえ上期のイベントは全て中止としました。

支部総会にて予定していました講演会だけでも9月頃に開催できないかと模索しておりましたが、6月頃の状況から判断し来年2021年の支部総会へ延期といたしました。2021年の支部総会をコロナ禍が収束せずとも実施できるようWebでの開催を含め検討してまいります。

今年は新型コロナウイルスの影響により、臨機応変な対応が求められます。新しいやり方を取り入れつつ、議論を尽くして最善の方法で支部運営を進めていきます。

〔幹事:近藤(アヴィックス),竹内(トヨタ自動車),城森(デンソー)〕

【予告】21年度 支部総会 講演会

下記内容にて講演会を予定しております。皆様奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日時:2021年4月17日(土)

場所:㈱デンソー D-Square

講演:1)「京都盆地北部でなにが起きたか?」

梅林 秀行 氏(京都高低差崖会 崖長)

梅林氏は「ブラタモリ」等、多数テレビ出演されております。京都大学周辺には特徴的な地形および歴史的文化背景があります。講演では「京都大学キャンパス」は、京都にとって、日本の歴史にとって、どのような位置を占めたのか?京都大学周辺の地理と歴史を絡めて語っていただきます。

講演:2)「あほなことせえ」

酒井 敏 教授(京都大学人間・環境学)

酒井教授は京大の自由な校風を地で行く「最も京大らしい」京大教授です。「あほなこと」とは世間の常識から外れることを意味する。しかし近年、「あほ」が許されなくなっている源流は企業にあると説きます。この流れを変えるべく「あほ」を広めるため現役企業人にメッセージを送ります。

学生フォーミュラー応援(若手企画) <ご報告>

日時:2019年8月31日(土) 参加:5名

場所:静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)

残念ながら、コロナ禍の影響により2020年の大会は、中止となりましたが、昨年2019年の応援の様子をお伝えします。

6/22(土)に準備の様子を見学させていただいてから約2か月間、学生たちが更に努力し、練習してきた成果を拝見すべく、中部支部 若手の会の活動として、KARTチームの全日本学生フォーミュラ大会の応援に行っていました。

4日目までの静的・動的審査の結果で5位となり、最終日のエンデュランス走行では3年ぶりに上位6チームに

よる最終走行での出走が決まり関係者の期待感も十分。全20周のうち、第一走者(前半10周)の滑り出しは順調でしたが、当日は気温が高く走者交代まで残り5周からは水温油温共に上昇。このため、スピードを落とさざるを得ず、10周終了後ピットインした際、冷却水漏れが発生し、無念の途中棄権となりました。

走行終了後、ピットでは悔しそうにマシンを点検する学生の姿が見受けられ、是非とも来年こそは無念を晴らすべく頑張っていたいただきたいと感じました。

〔幹事:川崎(新日鐵住金),一本(トヨタ自動車),宮川(豊田中央研究所),杉森(中部電力)〕

**第30回 技術交流会 <ご報告>**

日時:2019年9月23日(月) 参加:36名

場所:㈱デンソー 安城荘

残念ながら、コロナ禍の影響を考慮し2020年の学生見学会は大学判断にて中止となりました。これに伴い、主に学生向けに実施しています技術交流会についても同様に中止といたしました。本稿では昨年の様子についてお伝えします。

学生工場見学会と同時開催の技術交流会では「量子コンピュータで未来が変わる」と題し、スパコンをはるかに凌ぐ計算速度をもつ量子コンピュータが実用化されると、どのような未来が創造できるか、デンソー、寺部様にご講演いただきました。交通渋滞の制御など実証例を交えた分かり易い解説に加え、量子コンピュータ自体の目新しさもあって、学生たちは興味津々で聞き入っていました。その後の恒例の懇親会では、学生からの見学感想スピーチや、OBからのアドバイスなど、良い雰囲気での楽しい時間を過ごしました。

学生工場見学会ではDMG森精機(株)伊賀事業所、(株)デンソー高棚製作所、ヤマハ(株)本社工場、及びヤマハ発動機(株)磐田工場を周りました。

〔幹事:河野(デンソー),新家(DMG森精機),岡田(三菱自動車工業),中村(ヤマハ)〕





■ 2019年度 秋の行事

- 福岡県立東筑高校での出前講義と
TOTOミュージアム合同見学
門司港駅、関門海峡ミュージアム見学 -

九州支部では去る11月30日、12月1日の2日間に亘り、北九州にて秋の行事を開催いたしました。東筑高校の生徒と先生の方々合わせて28名、会員とご家族19名、総勢47名がご参加下さいました。以下概要を報告します。

1. 東筑高校でのものづくり出前講義

30日には、福岡県の伝統進学校であり黒瀬良一九州副支部長(1993年)の出身校でもある福岡県立東筑高校を訪れ、ものづくり出前講義を実施しました。

最初に黒瀬副支部長から京都大学の紹介をいただいた後、TOTO(株)の中村久志氏(1981年)から開発を陣頭指揮された経験をもとに「ウォシュレットの開発を通してみる商品開発の現場」というテーマで、また、西日本ペットボトルリサイクル(株)の千々木亨氏(1979年)から地球環境の直面する課題を紐解きながら「プラスチック社会の現状とあるべき姿」というテーマで講義いただきました。生徒の方々は大いに関心を寄せていただき、様々な質問をいただきました。



2. TOTOミュージアム合同見学・支部総会

その後、小倉北区のTOTOミュージアムを東筑高校生徒と先生の方々と共に見学しました。

明治初頭から衛生陶器の重要性を認識し、「良質と均質、奉仕と信用、協力と発展」の社是を100年以上貫き通してきたTOTOのものづくりの執念と技術の高さを皆で学ぶことが出来ました。

その後、九州支部総会を行い、2019年度決算と2020年度予算を承認すると共に、事務局長に入船佳津一氏(1985年)を、事務局次長に山元崇氏(1995年)を選出しました。その後、日本吟醸酒倶楽部へ移動し、全国の吟醸酒を堪能しながら懇親会を行いました。



3. 門司港駅、関門海峡ミュージアム見学

翌日は、改装が終了した門司港駅と関門海峡ミュージアムを見学しました。大陸と日本をつなぐ交通の要衝であり、歴史の舞台ともなった門司港に集ったそれぞれの時代の人々の息遣いを感じ取ることが出来ました。



■ 福岡県立修猷館高校での出前講義

2019年11月2日、前回の出前講義が好評であったことから二年連続で福岡県立修猷館高校にてものづくり出前講義を実施しました。

修猷館高校の卒業生であるTOTO(株)の中村久志氏から、今年も「ウォシュレットの開発を通してみる商品開発の現場」というテーマで講義頂きました。

今後も修猷館高校での出前講義は毎年の恒例行事になりそうです。



■ 2020年度 春の行事

コロナ禍の為、中止しました。

2021年度秋以降の行事との統合開催を検討中です。

京機会プチ情報: 思い出ショット!

2019年6月の九州支部「春の行事」は、沖縄で開催されました。当時は、その後の火災など知る由もなく…豪雨の中でも、美しい存在感を放つ首里城を堪能した見学会でした。





2020 支部活動のご報告

■ 春季行事は中止

2020年5月23日(土)～24日(日)に山口県下関市にて春季行事(見学会・支部総会・異業種交流会・観光)を開催する予定としておりましたが、コロナ禍の影響を受け中止となりました。当行事は1年延期にてあらためて開催する予定です。

■ 書面決議による予算等の承認

本来であれば、支部規約に基づき支部総会において2019年度の活動実績と会計決算の報告、2020年度の会計予算と役員改選の提案を行うところですが、当年度は特例として京機会会長および支部役員による書面決議を行い、それらは全会一致で承認されました。

■ 支部役員体制

副支部長の交代(琵琶志朗(1990年)⇒安達泰治(1990年))を除いて、その他は留任とする体制に決定しました。

支部役員(2020年度・敬称略)

支部長	古屋 博章(1982)
副支部長	安達 泰治(1990)、高橋 一彦(1983)
〃	石田 英芳(1987)
監 事	多田 直哉(1987)
事務局長	後藤 宏(1988)
事務局次長	木村 泰之(1988)
評議員	岡 宏一(1981)、豊嶋 範男(1982)
〃	小川 誓(1987)、白崎 琢也(2002)
顧 問	川口 東白(1959)、薦田 哲男(1970)
〃	稲本 信秀(1977)、田中善一郎(1982)

2019 秋季行事のご報告

- ・日時:2019年11月24日(日) 17:00～19:30
- ・会場:広島市「てっぱん家の場店」 参加者:11名
- ・行事内容:
 - (1)支部役員連絡会議
…2020春季行事の実実施計画等について審議しました。
 - (2)会員交流会



2020 秋季行事のご案内(予定)

- ・開催時期:2020年11月中旬
- ・会場:岡山市内(予定)
- ・行事内容:
 - (1)支部役員連絡会議 (2)会員交流会 (3)観光
- 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催時期・要領等を変更する可能性があります。
- 詳細については、別途Eメールおよび京機会HPでのご案内します。



京機会プチ情報:想い出ショット!

2009年2月開催の中国四国支部総会では、当時建設中の「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島」と、今はなき「初代 広島市民球場」の内部まで見学させていただきました。



桂キャンパス 桂図書館 開館のご紹介

2020年4月に桂図書館が開館いたしました。桂キャンパスにおける新たな学修・研究支援の場として、そしてエリア連携図書館として全学の図書館機能を支える存在でもあり、これまでの図書館機能の枠を超え、豊富な電子ジャーナルを含む理工系資料の収集・保存・発信の中核となり、京都大学の理工系・科学技術をコアとしたグローバル・イノベーション支援拠点としての機能を担っております。

現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サービス内容を一部制限して運営されており、ご卒業生がご利用いただける日はもうしばらく先になる模様です。来るべき日まで楽しみにお待ちしております。

● 図書館に纏わるお話→P.18へ

歌は世に連れ、世は歌に連れ

今年度になって、自由な時間に浸っている。感染症蔓延によって外出が制限されたこともあって、ネットで音楽を聴きながら本を読んで零れ落ちる時間を楽しんでいる。いつの間にか、懐かしい曲や本に癒されている自分に驚いている。



北村 隆行(1977年)

時流を見るときは？

小説、歴史、科学、技術等々の本を乱読するのだが、最近では昔に読んだ本にも手を出す。以前の読後感とは異なることも多いが、自分が変わったのか、世が変わったのかは、判然としない。しかし、良い本はいつも良い本である。

若い時にSF小説で宇宙のオペラを読んでいた頃を思い出す。タイムマシンや空間移動についても、作家の発想は自由・独創的で、時の流れや空間の認識に様々なイメージがあることを教えてくれた。研究では概念や考え方の把握(イメージ化)が命であるが、その考察にも大いに刺激になった。

今春に本箱から手にしたくなった本の中に、フィクションではなく実際の時空間の物理を平明に説明した「宇宙を織りなすもの：ブライアン・グリーン著」がある。もう一度、「時間」という次元のイメージを思い浮かべることが面白いと思ったからである。日々の生活から直感的に理解できる絶対時空間の概念は分かりやすい。一方、運動する個々によって異なる時間の流れに思い至った天才や、「現在」は確率的に同時に存在しうる複数の過去の履歴の総合と主張する珍妙な世界観は、SF作家の創造性をはるかに超えてゆくもののように思われる。

しかし、観点を試してみると、その時の感情等によって同じことを経験しても、個々人によって感じる時間の流れの速さは異なっている。一個人においても、日々同じ速度の流れではない。天才でなくてもイメージできる相対性ではないか。過去の一出来事についても、振り返ってみると反省・弁護・嫌悪・自慢等々が入り混じった多様な感覚があり、その総合的世界として解釈している自分がある。時の流れは、物理的にも心理的にもそのイメージは面白いものである。

今年は、新型コロナウイルスへの対応で世に大変動が生じている。感染症と経済の矛盾する両にらみの対策を求められて、混乱の中でちぐはぐな対応も見られる。国や地方自治体等のみならず、各種組織における責任者の苦悩は察してあまりある。未知の事態における情報の不完全性にも混乱の理由があるが、錯綜する複数事象における時定数の相違にも齟齬の根源があるように思える。感染症の持つ特有の時定数(例えば、発症までの日数や重症者の増加率)と施策を決定する時定数(例えば、外出自粛や経済活性化の具体策を組織決定するまでの時間)とそれ

が社会の変化として現れる時定数(例えば、外出の自粛や旅行の奨励が行き渡るまでの日数)が微妙に異なっている。このような時定数の違いの中での行動決定は、国や地方自治体においても経験は少なかったのではないだろうか。災害の緊急対策や文化財に対する長期対策など個々の時定数は異なっているが、一つの施策の中での大要としての流速は一致していた。例えば、もっとも速い流速を指針にすること等で自然災害への緊急対応ができた。一方、新型コロナ対策では異なる危機対応が必要な事象の時定数の不都合に相違し、判断の迷いが混乱に拍車をかけている。困難な時定数の違いをイメージとして読み解くのが、一流の政治家だろう。

大学は眠っているのか？

さて、世界と伍する研究大学として学術変化の時定数の掴み方や位置取りは、一段と難しい。最先端の研究と未来を背負う人材育成(教育)では、その時の流れの速度が大きく異なっている。そんな矛盾した時流の中で、学術変化の時定数を読み解くのが、一流と呼ばれる京都大学の役目であろうか。

40年ほども大学生活に埋もれている我が身を振り返ってみると、数年では見えない長スパンの変化を実感している。過去の日本社会のエネルギー飢餓への対処から現在の国際社会の情報氾濫への対処への移り変わりや、巨大堅固構造から複雑機能微視組織への対象の移り変わりを横目に、その視点を詳細化した力学に合わせてゆくことは当然の帰結であった。例えば空間スケールを考えると、メートル規模を想定した連続体の力学からマイクロ、メゾ、ナノと原子を意識した力学へと変遷してきた。もちろん、力学は一貫して繋がっている。量子力学的側面も自然に入ってくることになる。

一方、大学院までを含めた大学教育への反映を考えると、内容詳細化を考えて40年で一步である。諸姉諸兄の目からは、悲しいほど緩慢な流れであろうか。

京都大学を卒業する

教育において、「知識」獲得のみを目指すならば、時定数の見積もりは難しくない。日々の生活における時間に対する感性と記憶獲得の努力に要する時間に対する感性がそれほど変わらないからである。「意欲」という算出が厄介なものもあるが、小学校から大学院への流れの中で、知識に重点をおいた教育から次第に「考え方」に重きがある教育に移行する。すなわち、高等教育の肝は「考え方」を教えることにあるが、ここに生活と教育の感性における時定数の相違が顕著になる。「考え方」を獲得するためには、考える経験が必要である。基盤となる知識のみならず、研究という最先端プロジェクトを通じて「考え方」を教えるのが、研究大学としての京都大学の教育である。

未知の事態に直面することは技術者・研究者の常であり、その時に「知識」を如何に使うかの指針が「考え方」である。危機にあたり、科学的考え方に基づいた自分の意見を持ってコミュニケーションできるのが専門家であるという。原子力事故や感染症などの新たな危機のたびに、それに対応できる教育とは？との問を受ける。一個人が考え方を獲得してゆく時定数と即応人材の育成を希求する世の時定数の相違が、京都大学の苦悩でもあり楽しみでもある。

今春、なんとか教員卒業に無事にこぎつけた。卒業された方々の活躍を伺うのは、本当に嬉しいものである。教員冥利。感謝感謝。

何のかんのと、こむつかしいことを言っている、その間に世相は変わってゆき、流行り歌は時々の煌めきを残して行ってしまう。しかめ面など投げ捨てて、とっておきのエイジド・ウィスキーを天使と一緒に楽しむか。

教員の異動

新任

◆**岩崎 隆至**特定教授：S56 京大・工・精密工学科卒、S58 同大学院工学研究科精密工学専攻修士(花房研)修了、同年三菱電機(株)入社、応用機器研究所 名古屋製作所等で勤務、H22 同社先端技術総合研究所 機械システム技術部長、H24 Mitsubishi Electric Research Laboratories, Inc. (米国) Executive Vice President and CFO、H27 三菱電機(株)先端技術総合研究所メカトロニクス技術部門、H29同社先端技術総合研究所主管技師長。メカトロニクス機器の研究開発に従事。大阪府出身。



◆**平位 隆史**特定准教授：S59京大・工・数理工卒、S61同大学院工学研究科数理工学専攻・修士課程(片山研)修了、H1同博士後期課程研究指導認定退学、H1三菱電機(株)入社、H22同社先端技術総合研究所 センサ情報処理システム技術部長、H26同社開発本部開発業務部業務グループマネージャー、H29同社先端技術総合研究所知的財産センター長を経て、H31より本学工学研究科機械理工学専攻特定准教授。三菱電機との組織連携拠点である進化型機械システム技術産学共同講座を運営。兵庫県出身。



◆**林 聖勳**講師：H21漢陽大・工・機械工学科卒、H23同大学院自動車工科自動車工学専攻・修士課程修了、H28同博士課程修了、H29本学大学院工学研究科特定研究員、H30同特定同助教、R2.7.1同講師、トポロジー最適化を利用した電磁システム設計の研究に従事。韓国出身。



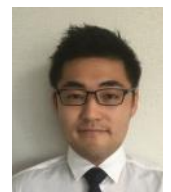
◆**Ramin Banan Sadeghian**助教：2007 Concordia Univ., Ph.D.(in Electrical Engineering), 2008-2011 UC Davis & USCS, postdoctoral scientist, 2011-2013 H2Scan Co., Senior Research Engineer, 2013-2017 Tohoku Univ. (WPI-AIMR), Research Associate-Assistant Professor, 2017-present Kyoto Univ., Dept. of Micro Engineering, Assistant Professor. Research field: Microphysiological systems((MPS) and sensors. Nationality: Canadian.



◆**星野 健太**助教：H21北大・工・情報エレクトロニクス学科卒、H23同大学院情報科学研究科・修士課程修了、H26同博士後期課程修了、H26青山学院大学理工学部助教を経て、H31. 4. 1本学情報学研究科システム科学専攻助教。非線形制御理論、確率システム理論の研究に従事。埼玉県出身。



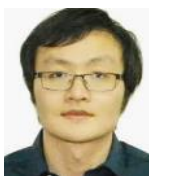
◆**牧 功一郎**助教：H24京大・工・物理卒、H26同大学院工学研究科・修士課程修了、H29同博士後期課程修了、R1.10.1本学マイクロエンジニアリング専攻助教。生体材料の1分子スケールの力学特性に着目したバイオメカニクス研究に従事。京都府出身。



◆**Abhishek L. Pillai**助教：2010年 Visvesvaraya National Institute of Technology(インド)機械工学科卒、2013年 Indian Institute of Technology, Bombay(インド)航空工学専攻修士課程修了。2014年日本政府(文部科学省)奨学金留学生として本学・機械理工学専攻研究生、2015年同専攻博士後期課程入学、2018年同課程修了(博士(工学))。本学・機械理工学専攻特定研究員を経て、2019.11.1 同専攻 助教。乱流燃焼機構の解明とモデリングに関する研究に従事。インド出身。



◆**Wule Zhu**助教：2017 Zhejiang Univ., Ph.D.(in Mechanical Engineering), 2014-2016 Northwestern University, Pre-doctoral research fellow. 2017.5-2020.3 Kyoto University, Post-doctoral researcher. 2020.4-present Kyoto Univ., Dept. of Micro Engineering, Assistant Professor. Research field: Precision machining of freeform optics. Nationality: Chinese.



◆**古田 幸三**特定助教：H25京大・工・物理工学科卒、H27本学機械理工学専攻修士課程修了、H30同博士後期課程およびデザイン学大学院連携プログラム修了、H30 日本学術振興会特別研究員PD、H31本学機械理工学専攻特定研究員、R2本学マイクロエンジニアリング専攻特定助教。構造最適設計法に関する研究に従事。山口県出身。



新任

◆森 幸太郎特定助教:H27京大・工・物理工学科卒、H29同大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻・修士課程修了。R1同博士後期課程およびデザイン学大学院連携プログラム修了、日本学術振興会特別研究員PD。R2.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻・特定助教。設置環境を考慮した工作機械のエネルギー消費・熱変位低減の研究に従事。奈良県出身。



昇任

◆岩井 裕教授:H5京大・工・機械工学科卒、H8同大学院工学研究科機械工学専攻・修士課程修了、H11.1同博士後期課程修了、H11.2日本学術振興会特別研究員PD、H11.4本学機械工学専攻助手、H13同講師、H17航空宇宙工学専攻講師(改組による)、H19同准教授、R1.9.1本学機械理工学専攻教授。熱工学・伝熱工学を基盤に、反応を伴う系の熱物質輸送や、燃料電池などエネルギー変換に関する研究に従事。静岡県出身。



◆土屋 智由教授:H3東大工卒、H5同大学院工学系研究科点・博士前期課程修了、H5(株)豊田中央研究所、H14名大・大学院工学研究科・博士後期課程修了(社会人Dr)、H16本学機械工学専攻助教授、H31本学マイクロエンジニアリング専攻教授。マイクロセンサ・アクチュエータ、微小構造の機械的信頼性の研究に従事。神奈川県出身。



◆横川 隆司教授:H12京大・工・物理卒、H17東大・博士課程修了、博士(工学)、H17-21立命館大マイクロ機械システム工学科専任講師、H21.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻助教、H23同准教授、R1同教授。マイクロマシンングと生体分子・細胞を融合したナノバイオシステムの開発研究に従事。静岡県出身。



◆Beaucamp Anthony特定准教授:

H12リール科学技術大・物理学科卒、H13マンチェスター工業大・修士課程修了。超精密光学業界で10年間勤務。H24中部大・同博士後期課程修了、H25京大・日本学術振興会特別研究員PD、H27本学・マイクロエンジニアリング専攻講師、R2本学・特定准教授。研削研磨加工技術、超精密加工用CAM、機械加工の分子レベルモデリングの研究に従事。フランス出身。



異動

◆岸本 将史特定助教:H20京大・工・物理工学科卒、H22同大学院工学研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了、H25同博士後期課程修了、H25日本学術振興会海外特別研究員(英国Imperial College London)、H27.4.1京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻特定助教、R2.4.1同機械理工学専攻特定助教。固体酸化物形燃料電池に関する研究に従事。滋賀県出身。



転出,異動

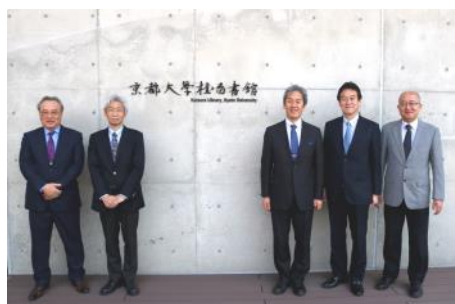
- ◆ 田畑 修教授:2019年10月1日 京都先端科学大学 機械電気システム工学科の教授(工学部長)に就任
- ◆ 中村 康一特定准教授:2019年10月1日 京都先端科学大学 機械電気システム工学科の教授に就任
- ◆ 松本龍介講師:2019年10月1日 京都先端科学大学 ナガモリアクチュエータ研究所の准教授に就任
- ◆ Hemma Philamore講師:2020年2月1日 Department of Engineering Mathematics University of Bristolへ
- ◆ 山田 崇恭助教:2020年3月1日 東京大学 工学系研究科の准教授に就任
- ◆ 劉 楊特定准助教:2020年3月1日 住友化学(株)へ
- ◆ 堀口由貴男助教:2020年4月1日 関西大学 総合情報学部の教授に就任

定年退職(予定)

- ◆ 吉田 英生教授:2021年3月31日定年退職予定
- ◆ 富田 直秀教授:2021年3月31日定年退職予定

桂キャンパスや桂図書館のロゴについて

皆さんが桂キャンパスを訪問されると、あちらこちらに毛筆調のフォントで「京都大学・・・」と書かれたロゴを目にされると思います。これらの字は京都大学所蔵の国宝「今昔物語(鈴鹿本)」から「京」「都」「大學」「桂」などの字を集字してデザインされています。



新しく開館した桂図書館のロゴでも、鈴鹿本から「図」「書」「館」の字が集字されました。歴史と伝統に根ざして最先端を追求する京大の工学ならではのロゴだと思いませんか？

なお、鈴鹿本は現存する今昔物語最古の写本で、京都大学貴重資料デジタルアーカイブで公開されています。

<https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/classification/pickup-nt>

● 桂図書館のご紹介→P.15へ



学年・研究室同窓会のご報告

晦日会(河本研究室同窓会)開催報告

河本研OB有志の同窓会である晦日会が、2019年8月31日(土)17時よりホテルグランピア大阪19階アブで開催され、9名が集まりました。

今回の晦日会に欠席された方々の近況を話し合いました。何人かの方は元気に現役で活躍されておられたり、別の計画で飛び回っておられる方がおられます。しかし体調を崩され、外出がままならぬ方もおられます。出席者は今日出席できたことに感謝するとともに、健康に留意し来年も元気に集まろうと約束しあいました。

来年も8月22日(第4土曜日)に同場所での開催を予定しています。本会は前回の案内に返信をいただいた方に案内することで進めています。関心を持たれた方は担当 川合 等(1967年)まで連絡ください。

hts_kawai@yahoo.co.jp

(川合記)



昭和42年卒 関東同期会

2019年もS42卒(S38入学)関東同期会 愛称「金時会」が春と秋に開催されました。

春は5月17日に10人、秋は11月15日に14人集まりました。近況報告や学生時代の思い出が話題になりました。来春の予定は5月15日(金)です。(藤川記)



春の金時会

秋の金時会



京機43会(昭和43年卒同窓会)

京機43会(京機会昭和43年卒同期会)は、毎年、関東、中部、関西などで幹事を回り持ちして開催しています。

2019年は、10月10日に、関西地区が幹事で、「懐かしい大学を訪問」ということで、台風を横目で見ながら、がんこ高瀬川二条苑で会食を行い、卒業以来初参加の小林さん・松尾さんを含め往時の昔話を肴に酒を酌み交わし、話に花を咲かせました。

翌日は、ゴルフ組は伝統の上賀茂コースで、また観光組は懐かしい大学を吉村名誉教授に案内して頂いて、資料館では大学紛争時を思い出して、いろいろ昔話が出てなかなか歩が進みませんでした。また新しい総合博物館にも全員70歳超なので無料で入館出来、山岳学術研究や霊長類の研究に興味深く見て回りました。その後、昼食を楽友会館の「近衛Latin」で愉しました。関西地区幹事:井上、大西、來田、谷口、吉村(來田記)



昭和46年卒(昭和42年入学教養部T-10組)同窓会

2019年11月6日に、京都大学時計台内のレストランラトゥールで単身4名と、夫婦2組の参加で夕食会を催しました。今回は第5回です。

今年は全員が古希を迎え、近況報告や今回海外旅行等で急遽欠席になったメンバーの現状報告がありました。会場が学生時代を過ごした吉田キャンパスということで、講義室、研究室があった建物の現状を見るつもりでしたが、さすがに卒業後48年が経ち新しい建物に建て替わっており残念な思いと共に今の学生は整った環境で勉強ができるということを羨ましく感じました。夕食会に先立ち総合博物館を訪問し、京都近くの遺跡で発掘された石棺等の展示物と、たぶん工学部物理工学科から寄贈されたであろう創設期の京大で教材として使われた機械メカニズム模型等を見学しました。幸運だったのは、博物館が70歳以上は入場無料で、今回全員がそれに該当していたことです。次回は再来年を予定しています。T-10の皆さん是非御参加ください。(清水記)



会員のページ

昭和53年卒同窓会

2019年11月24日(日)に京都百万遍の「くれしま」で、卒業以来6回目の学年同窓会を行い、19名の同窓生が集まりました。

皆、近況を伝えあいましたが、定年を迎える年代となり、今後の身の振り方や年金の話などが出ました。また健康面の話や未婚の子供のこと、親の死に伴う苦労などの話題も出て、同窓会ならではの情報交換の場になりました。最後に皆で琵琶湖周航の歌を歌って散会しました。あっという間に時間が過ぎ去る楽しいひと時を過ごしました。(上原記)



京岬会(昭和33年卒)同窓会

京岬会同窓会総会を2019年10月15日に沼津リバーサイドホテルにて10名の参加の下、盛大に開催した。12日に台風19号が来襲して中部地方から東北地方で水害、地崩れ等の大きな災害をもたらしたが幸い会員関係者にはその影響もなく、交通の便も支障なく、予定メンバー全員が揃った。総会は、梅本幹事の司会のもと造田君の乾杯の音頭で始まり懇談と3題の小講演がおこなわれた。その後、部屋を移して二次会を開催した。「逍遙の歌」を全員で合唱し、出席者全員の近況報告や学生時代の思い出の報告や高齢者の自動車運転の可否等を含め賑やかな対話をおこなった。その後、希望者5名でカラオケを楽しんだ。

翌日は有志8名参加の下、恒例のゴルフコンペを沼津ゴルフクラブで行い、各人健闘の結果、小澤君の優勝で終わった。(中村記)



2020年1月21日(2020年)学士会館にて、『第19回談風会』を実施した。談風会は、2012年2月が第1回目

で、半年ごとに開催されると2020年7月で第20回となる。きっかけとなった、2011年の京岬会総会から数える事にすれば、第19回となる様だ。



京機・九日会

2019年10月9日に大阪の堂島にある中央電気倶楽部で令和元年最後の九日会が開催されました。定刻の午前11時に20名の会員が集まり、四柳 繁氏(1973年)が「小企業の私の会社が、これまで扱ってきた3種類の機械について」というテーマで卓話をされました。その後地階にある「えれき亭」でしゃぶしゃぶの懇親会を行い、互いの近況や健康の話など交流を楽しんで午後2時に散会しました。(川合記)



京畿九日会は原則として偶数月(12月を除く)の9日のお昼に中央電気倶楽部で開催されます。(祝祭日の場合は翌日)。関西支部会員の皆様には開催の1か月前には卓話テーマを含めて開催案内があります。どなたでも参加できますので、ご希望の方は案内に記載の担当幹事までご連絡ください。

京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。**紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただく場合があります。**

なお、今後の検討により、次号から写真とキャプションのみの掲載となる場合もあります。その節はご容赦ください。また、お送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承ください。

次号(No.42)締切は2021年7月末日です。

担当:黒瀬 良一、横川 隆司、段 智子

京機会ニュースでの各種同窓会報告は、年1回であるため、昨今は「京機短信」(毎月5日発行)にて、随時ご紹介しています。短信では字数も写真の枚数制限もありません。詳しい同窓会報告の掲載を希望される場合は、短信用の原稿も併せてお送りください。

<https://keikikai.jp/publications/tanshin/>
短信連絡メールアドレス: tanshingenko@keikikai.jp